



(右の写真) 中村大司教から握手を受ける洪師。
りに洪師から夫婦で祝福を受け、涙ぐむ姉・英基
(左) 叙階式の終わ
下退堂して司祭団に拍手で迎えられる洪新司祭と廣田新助祭。



3月20日(木) 10時30分から浦上司教座聖堂で司祭・助祭叙階式が行われ、1人の司祭と1人の助祭が誕生した。叙階されたのは、浦上教会出身のボナベントゥラ・洪燦基新司祭と鹿子前教会出身のトマ・廣田学新助祭。叙階式は中村倫明大司教の主司式、高見三明名譽大司教と100人余の司祭団の共同司式のもと行われ、韓国よりご家族や出身小教区などから司祭方と信徒の皆さん約1

浦上で叙階式 4年ぶりに新司祭誕生



カトリック長崎大司教区
広報委員会

〒 852 - 8114
長崎市橋口町 1 - 1
長崎大司教館内
TEL 095 - 843 - 3869
FAX 095 - 842 - 4460
振替口座 01880 - 5 - 2699

発行人
山田良秋
印刷所
株式会社インテックス

教皇様のために
祈りましょう

呼吸器感染症のため2月14日にローマの病院に入院された教皇フランシスコは、その後3月23日に退院現在はバチカンで順調に療養生活を続けられている（4月15日付バチカン・ニュース）。教皇のために続けてお祈りをいたしましょう。

カリタスジャパン ミャンマー地震救援募金 受付開始

（4月3日付カリタスジャパンのサイ

金は、被災地域で行われる救援活動のために活用させていただきます。募金受付口座は次の通りです。

二、二、批重款授革命，亟付回南

郵便振替 00170-5-95979
加入者名 宗教法人トリック中央協

*記入欄に「ミャンマー地震」と明記して下さい

(中略) なお、「ゆこ
ちよダイレクト」ならび
に他行からお振込みいた
だく場合は、ご依頼人の
お名前の後に「6262
(ミヤンマー地震救援基
金の意向番号)」を記入、
ただきますようお願ひい
たします。

また、お送りいただい
た募金はこの度の地震救
援活動に用いられますが、
が、万一活動終了時に残
金が発生した場合、ミ
ンマー国内の他の支援活
動のために使用させて、
だく場合があります。

ほしかげ

教区生涯養成委員会主催 2025年度カトリック公開講座のご案内

「豊かな聖年をあゆむため」をテーマに開催しておりますカトリック講座は、第4回公開講座におきまして「永井隆博士の信仰と平和」について、永井徳三郎氏にご講話をいただきます。

永井徳三郎氏は永井隆博士の御令孫にあたります。2025年の聖年をあゆむカトリック教会ですが、その中でも特に私たちは平和について祈りを深めていく時を迎えてます。被爆から80年の時を迎え、「永井隆博士の平和と信仰の精神」に触ることは私たちの信仰と平和を深める機会となることでしょう。浦上天主堂にて永井博士とともに平和を祈る機会となれば幸いです。

生涯養成委員會 山添克明

- ◆講 師 永井徳三郎氏(長崎市永井隆記念館館長)
 - ◆内 容 被爆80年「永井隆博士の信仰と平和」ズーム
Zoom
 - ◆日 時 2025年6月7日(土)10時~12時
 - ◆場 所 浦上教会またはオンライン受講(定員あり)
 - ◆参加費 無料

- ◆ 参加費 無料
2025年度分のカトリック講座を履修の方は申し込み不要
- ◆ 申込先 カトリック長崎大司教区生涯養成委員会
Fax 095-842-4460 cnsy.kouza@gmail.com
- ◆ 問合先 Tel 095-841-7731

オンライン受講や申込み切については、各教会に配布され
る案内を参考して下さい。

*申し込みは「申込用紙」または右のフォームからお願いいたします。当日の講座の録画配信はありません。→



探ししていたのだろう▲一生懸命に生きようとする姿、私にそれだけの一生懸命さはあるだろうかと考えさせられる▲イノシシを擁護するつもりはない、むしろイノシシが私たちの生活圏とは離れた所で暮らしてほしい。これからも決して共存はできないだろうが、その生きる姿には私自身学ぶものがあるのではないかと
思つた。
(希)

②トビア会規程
2016年の顧問会において、引退後の司祭施設に関する審議がなされ、「プロジェクト」

③トビア会規程
2005年に発効した長崎教区司祭の「年金保険規約」(改訂案)が承認された。この制度は1976年に宣教地の高齢司祭の福利のために始まり、その後各教区に移り、その後各教区に移譲されていた。

④カトリックセンターの閉館に伴い、収容人数の都合上、2025年度は全員一同参加で行う。「トビア会規程」(案)が提出され、名称を「引退司祭生活支援委員会」とすることを定めた「トビア会規程」(案)が承認された。規程案については同委員会でさらに精査する。

⑤浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑥浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑦浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑧浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑨浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

司祭評議会

2024年度
第3回

3月17日(月)10時から大司教館で行われた。承認事項は以下の通り。

①2025年度の教区司祭默想会

②トビア会規程

③トビア会規程

④カトリック長崎大司教館および公用車の利用内規

⑤浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑥浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑦浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

⑧浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。

内科・循環器科
医療法人 平田クリニック
院長 ヨゼフ 平田哲也
通所リハビリテーション
上野町グループホーム・サービス付き高齢者住宅
長崎市上野町1-5 TEL 095-845-6175

⑨浦上教会パイプオルガンの維持費について、その年ごとの大規模メンテナンスの手順で調査が必要と指針に従って、どのような手順で調査が必要と報告を申し上げます。



キーワード探しの後のミサで、すみてをみちひかれる神とともに
参加者が笑顔で記念撮影(4月2日浦上教会)

2025聖年 子どもの集い

スタッフら合わせ約700人
全7地区から参加



2025聖年を過ごすにあたり、教区信教教育委員会と召命委員会、その他の諸委員会は互いに協力して小学生(旧学年)が参加する「子どもの集い」を企画・主催し、4月2日(水)に実施した。長崎教区の全7地区41教会から小学生300人余と中学生80人余、また、保護者とカテキスター、司祭、修道者、スタッフら合わせて総勢約700人が長崎の浦上地区に集まつた。

この集いは、子どもたちが迫害と原爆の被害を受けた浦上の歴史を知ることも、ともにどのようなどきにも「いつもともにいることを学ぶ機会となるようにと願つて企画して導いてくださる」神がいることに願つて企画したもの。

当日は9時30分から地区ごとに場所を分けて受付とオリエンテーション。子どもたちと保護者、カテキスターは、10時から平和公園と浦上教会の二手に分かれ「キーワード探し」をスタート。浦上教会の祭壇や被爆マリアの被爆遺構、「信仰の礎」や浦上四番崩れによる流配の記念碑、信徒発見150周年記念のレリーフ、如己堂など計10カ所を約2時間かけて徒步で巡礼し、各場所でキーワードを受け取って10文字の言葉を完成させた。

その後は昼食と休憩を福してもらった自分の十字架を持ち、解散した。今回のように全地区から子どもたちが集まる行事は近年では見られなかつた。無事に集いを終え、教区信仰教育委員長

が二つあります。私は、子どもの集いに参加して、大切なことを学びました。その中でも私が印象に残つたこと

が二つあります。私は、子どもの集いに残りました。このような経験を生かして、この子どもの集いに来れなかつた人たちに教えてあげて、いたいと思いました。

原爆投下によつて、ほぼ原形を留めぬまでに破壊された浦上教会の被爆資料にふれ、原爆は人や物だけでなく、長崎の文化まで奪つてしまつたのだと知り、改めて原爆の協力者は互いに拍手を送り合い、子どもたちは祝

閉祭。参加者、スタッフ、大司教の主司式によるミサが行われ、ミサの終わりには参加者がそれぞれ持つた十字架を大司教が祝福し、15時過ぎに

★ 倶町教会
川尻 心陽さん(小6)
(申込時の学年を表記)

二つ目は、浦上天主堂の鐘楼の屋根のことです。直径5メートル、重さ約50トンの屋根が爆弾の爆風で飛ばされていたから、私の想像以上に、熱と爆風がとてもすごいことが分かりました。なので印

が二つあります。私は、子どもの集いに残りました。このような経験を生かして、この子どもの集いに来れなかつた人たちに教えてあげて、いたいと思いました。

原爆投下によつて、ほぼ原形を留めぬまでに破壊された浦上教会の被爆資料にふれ、原爆は人や物だけでなく、長崎の文化まで奪つてしまつたのだと知り、改めて原爆の協力者は互いに拍手を送り合い、子どもたちは祝

閉祭。参加者、スタッフ、大司教の主司式によるミサが行われ、ミサの終わりには参加者がそれぞれ持つた十字架を大司教が祝福し、15時過ぎに

★ 水ノ浦教会
岡本 貴龍さん(中2)
(申込時の学年を表記)

二つ目は、浦上天主堂の鐘楼の屋根のことです。直径5メートル、重さ約50トンの屋根が爆弾の爆風で飛ばされていたから、私の想像以上に、熱と爆風がとてもすごいことが分かりました。なので印

が二つあります。私は、子どもの集いに残つたこと

が二つあります。私は、子どもの集い